

今まで、松下幸三助さんという人物に、
て、自分が知っていたことは、とにかく人を
大切にしたい、どんな人でも活かしたい、
という漠然とした感じでした。か知りませんでした。
今回、この本を読んで、なぜ人を大切にし
てきたのか。経営の根幹は何かを深く知るこ
とが出来ました。
そして何より、自分自身にとっても厳しく、
どこまでも追究し、自分自身に常に問いかけ
勉強し、努力を続けたい方だと思いました。
二二歳という若さで独立し、様々な気づきと
転機により、一代で歴史に残る経営をされて
きた裏には人知れぬ努力と苦勞があったこと
が本から伝わってきました。
人間の偉大さ、可能性を信じ、自分の経営
理念を斬り切った一念が、宇宙をも味方にし
今のパナソニックを創りあげたのだと思いまし
た。
私は、今まであまり人を疑ったり、嫌いに
なったりすることはほとんどありませんでした。

た。人間は基本みんな良い人だと思いい接して
きたからです。

ですが、様々な経験を重ねていくと、良い
人ばかりではなく、良い人に見えても、その
人の裏の部分もわかるようになります。昔のよう
にも、と素直に受け入れ人を信じられていな
いように思うのです。なので、この本を読み
自分はどこまで人を信じられているのかと考
えさせられました。素直な心で人を信じ切り
自分自身に毎日、目標を掲げ、宇宙根源の法

則にのれるように自分を磨きながら過ごして
いこうと思われました。

最後のエピソードのところに、私たちの生
き方、人生の在り方には三つあるというの
があり、自分の命をどう使うのかも考えること
ができました。何が自分の天命なのかを理解
して生きている人は本当に少ないと思えます
私自身も、天命が何なのか。まだわかりま
せん。わからなれないながらも日々、自分のやる
べきことを行い、自分の天命は何かと探しな

から生きていくことで何か、しっくりいくもの
の出会いと信じ、またまたですが、一日一
日を大切に取組んでいきます。

ありがとうございました。